2102876H59601

三菱 浴室用 ダクト用ロスナイ

形 名

VL-70BZ3

据付説明書

販売店・工事店様用

- ■この製品は住宅用です。それ以外には使用しないでください。故障の原因となります。
- ■この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。据付けの前に、この据付説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- ■据付けは販売店・工事店様が実施してください。（お客様ご自身では据付けしないでください）
- ■電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。（無資格者の電気工事は法律で禁止されています）

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。
据付けが終わりましたらこの据付説明書とともに、お客様に必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	⚠注意
誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止	指示に従い必ず行う
分解禁止	アース線を必ず接続せよ
水ぬれ禁止	

⚠警告

禁止	● 高温となる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所、有機溶剤のかかる場所には据付けない（火災の原因） ● 浴室内に壁スイッチを据付けない（感電・漏電の原因）
分解禁止	● 改造や必要以上の分解はしない（火災・感電・けがの原因）
水ぬれ禁止	● 製品を水につけたり、水をかけたりしない（火災や感電の原因）
指示に従い必ず行う	● 交流100Vを使用する（直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因） ● 本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う（落下によるけがの原因） ● 端子台は指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する（接続に不備があると火災の原因）

安全のために必ず守ること つづき

⚠警告

!	●**電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店（電気工事士）が安全・確実に行う**（接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因） ●**メタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属板張りの木造の造営物に金属ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように据付ける** （漏電した場合発火の原因） ●**ダクト配管のはずれがないよう市販の固定バンドやアルミテープ等を用いて固定し、本体からの屋外側ダクトは、屋外に向けて1/30以上の下りこう配（雨水・雪浸入防止）になるように据付ける**（雨水の浸入による感電・火災や家財破損の原因） ●**ダクトの断熱は必ず根元まで行う**（冬季に露出部分が低温になるため、室内湿気による結露発生の原因） ●**据付け後長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る** （絶縁劣化による感電や漏電火災の原因） ●**端子カバーは電気工事後必ず据付ける**（ほこり・湿気などの浸入によるにより漏電・火災の原因） ●**外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ** （新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因）
アース線を必ず接続せよ	●**アースを確実に取付ける** （故障や漏電のときに感電する原因）

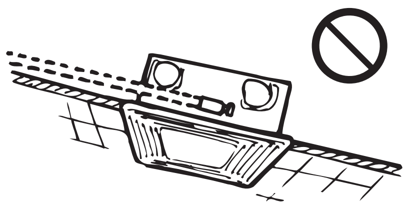
⚠注意

禁止	● **天井据付け専用です。壁には据付けない** （落下によるけがの原因）
!	●**据付けの際は手袋を着用する**（けがの原因） ● **ドレン排出は、据付説明書に従って確実に行う**（水漏れによる感電・火災や家財等を濡らす原因） ●**壁の給・排気穴に雨水がかかる場合は、専用のシステム部材のフードを取付ける** （雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因） ●**下記の使用条件を超える地域・場所には据付けない** 外気温度：－5～40℃ 本体周囲および還気温湿度：0℃～40℃，相対湿度 80%以下かつ最低外気温度条件（－5℃）にて露点温度 7.9℃(20℃，相対湿度 45%相当）となる絶対湿度以下 使用条件を超えた場合、結露水が滴下することがあります。

規　制

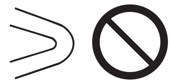
●共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、システム部材の煙逆流防止ダンパーおよびその点検口を必ず設けてください。
●ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
●ジャバラの使用については、地区によって異なった規制を受ける場合がありますのであらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

お願い



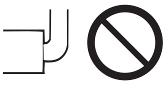
- 本体が水平になるよう据付けてください。浴室の天井に傾斜がある場合ドレン抜きエルボ方向に1°までとしてください。ドレン水がスムーズに排出されません。
- 浴室など湿気の多い場所では、グリルから水滴が落ちても不快にならない場所に据付けてください。
- フードからドレン水が滴下することがありますので、屋外のフード周辺に物を置かない場所に据付けてください。
- 天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。
- 寒冷地あるいは風の強い地域では、運転停止時に外風が侵入することがありますので、給・排気ダクトの途中に電動シャッターを設けることをおすすめします。
- 天井にはダクト接続口が点検できる所に点検口を設けてください。
- 給排気ダクトの先端には、雨水などの浸入を防ぐためのフード（システム部材）などを取付けることをおすすめします。
- 給気・排気が混ざらないダクト配管を行ってください。
- 次のようなダクト配管はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因）

●極端な曲げ

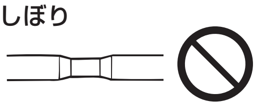


●多数の曲げ

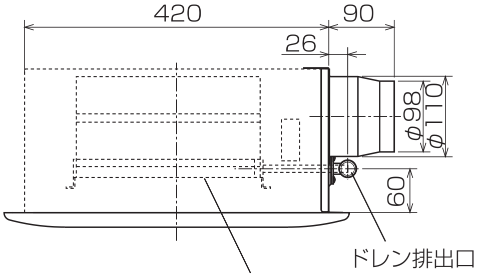
●吐出口のすぐそばでの曲げ

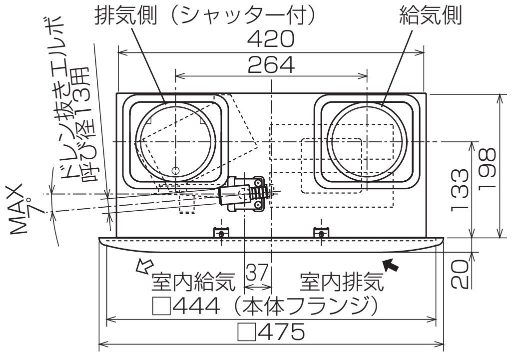


●しぼり

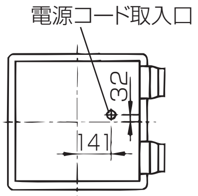


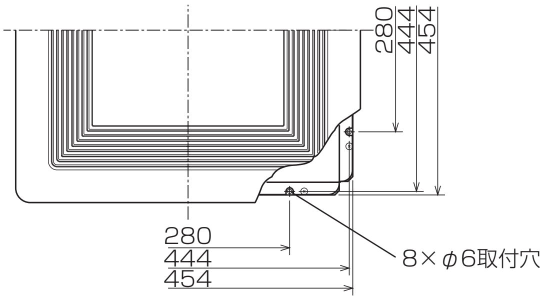
外形寸法図





■電源コード取入口





単位（mm）

製品質量

- 9.0kg

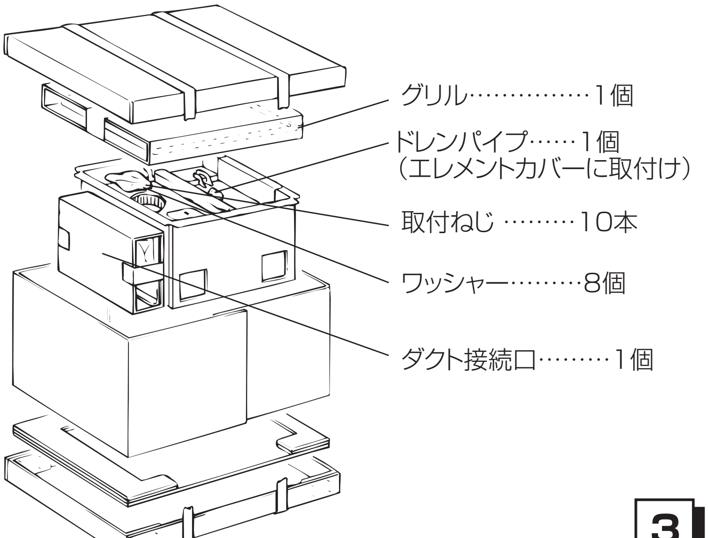
天井開口寸法

- 本体据付…□430mm
- 点 検 口…□450mm
  （ダクト・ドレン接続部点検用）

接続ダクト

φ100（4番管）
- 塩化ビニル管
- アルミスパイラルダクト
- 鋼板管

開梱と付属部品



据付方法

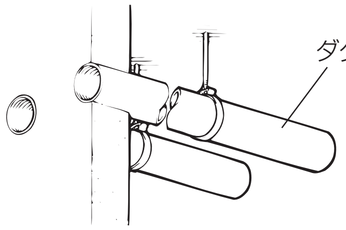
本体の据付けは必ず天井板を張り付けてから浴室内より固定してください。
本体のメンテナンスができなくなります。

据付手順例 野縁に据付ける

ダクト配管 → 野縁組立てと天井開口 → 電気工事 → ダクト接続 → ドレン配管 → 本体の据付け → グリルの取付け

※天井据付けする場合は、天吊り補助枠（P-70TW）の据付説明書をご確認ください。

ダクト配管

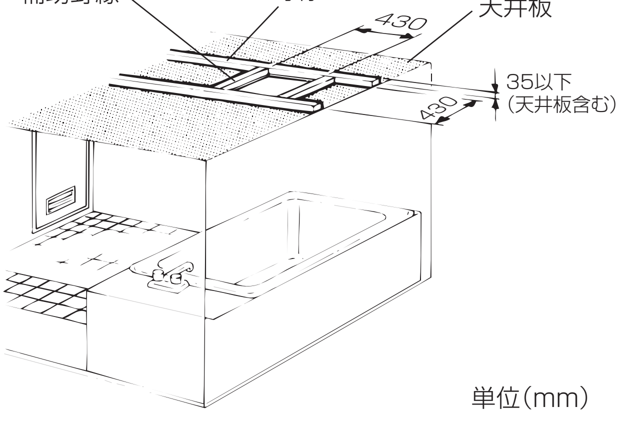


1. 本体の据付位置、壁の給・排気位置を決めます。
2. 壁の給・排気穴から本体のダクト接続口位置までダクト配管します。

⚠警告	●ダクト配管は屋外に向かって1/30以上の下りこう配になるように据付け、断熱処理を確実に行ってください。 雨水の浸入による感電・火災や家財破損の原因。

3. ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊してください。

野縁の組立てと天井開口



単位(mm)

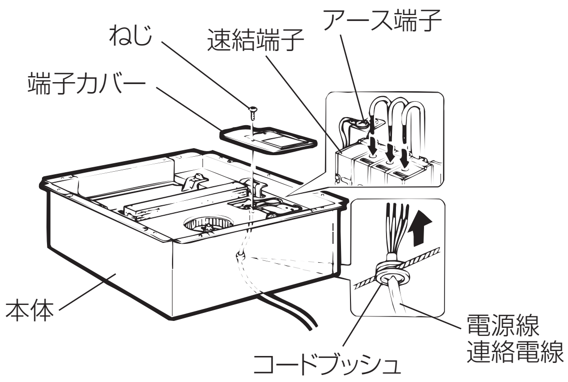
1. 据付位置の確認をします。
   - 浴槽上の天井面に据付けることをおすすめします。効果的に排湿することができます。
   - グリルから水滴が落ちる場合がありますので、水滴が落ちて不快にならない場所に、お客様とご相談のうえ据付けてください。
2. 取付枠の組立・天井板の張り付けをし、開口部を設けてください。
   - 内寸が左図の寸法となるように天井の野縁と補助野縁で取付枠を組んでください。なお、野縁は天井板含め35mm以下のものを使用してください。（ダクト接続口が取付けられません。）

電気工事

⚠警告	●交流100Vを使用する。直流や交流200Vを使用すると感電の原因。 ●端子台は指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する。接続に不備があると火災の原因。 ●電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店（電気工事士）が安全・確実に行う。接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。

■運転にはコントロールスイッチが必要です。
システム部材のコントロールスイッチ（P-1600SWL2など）または、市販の埋込スイッチを用意してください。

●市販のスイッチをご使用の場合は結線図に基づいて適切なスイッチを組合わせて結線してください。



1. 配線をします。

●電源線・連絡電線には、ϕ1.6の単線（例VVF）を使用してください。

●本体が点検できるよう、電源コードに本体据付位置より約2mの余裕をもって配線してください。

2. コントロールスイッチ（システム部材）に同梱の据付説明書に従ってコントロールスイッチを取付けます。

●左表にリード線の色を記入します。

3. 本体端子台に接続する前にスイッチの切り換えにより正しい出力がされているか確認します。
（左表に記入したリード線の色を確認してください。）

●間違いが発見されたときはすみやかに通電を停止して、結線図に基づき結線をやり直し、再度正しい出力が出るか確認してください。

4. 本体に結線します。

（1）ねじ1本をはずして端子カバーをはずします。

（2）電源線およびコントロールスイッチとの連絡電線をコードブッシュを通して本体内に引き込みます。

（3）結線図に示してあるストリップゲージに合わせて先端10mmの皮むきをし、速結端子に確実に差し込みます。

●結線後、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

（4）アース端子を使用してアース工事（D種接地工事）を行います。

（5）ねじ1本を締め付け端子カバーを取付けます。

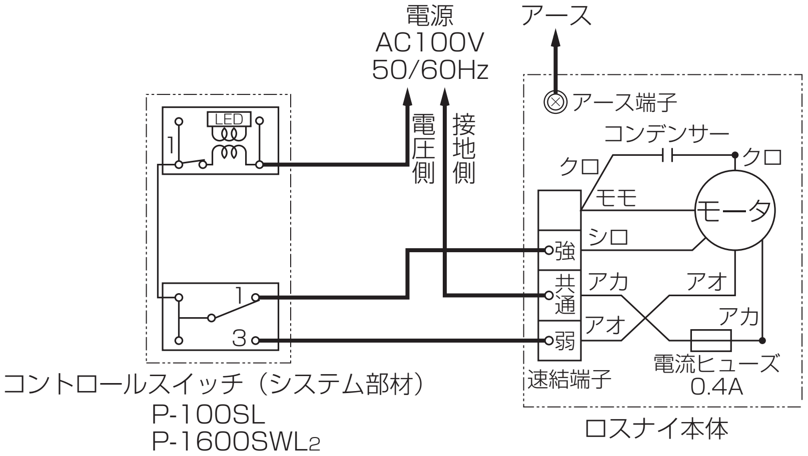
誤結線防止リード線色確認表

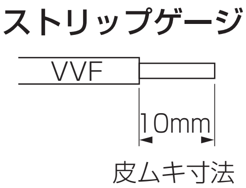
			リード線の色	
コントロールスイッチ	電源スイッチ	2		電源電圧側
	切換スイッチ	1		本体端子台 強
		3		本体端子台 弱
電源接地側				本体端子台 共通
アース				本体アース端子

電源スイッチ	切		入	
切換スイッチ	強	弱	強	弱
リード線 AC電圧出力〔V〕	共通・強・弱・アース 共通–強：0 共通–弱：0 共通–アース：0		共通・強・弱・アース 共通–強：100 共通–弱：0 共通–アース：0	共通・強・弱・アース 共通–強：0 共通–弱：100 共通–アース：0

据付方法 つづき

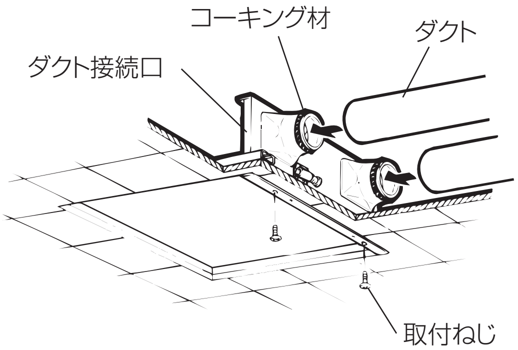
■結線図………太線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。





ダクト接続

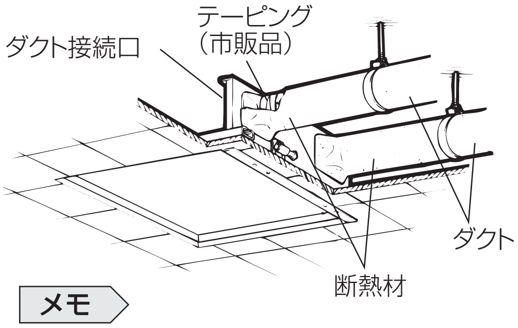
1



ダクト接続口を取付けます。

1. **排気側ダクト接続口のシャッターに貼付けてあるテープをはがします。**
   - はがしたテープ、その他の異物が本体に入らないようにしてください。
     （本体内部に入ると異常音となります）
2. **風漏れ防止のためダクト接続口外周に市販のコーキング材を塗布します。**
3. **ダクト接続口をダクトに差し込みながら取付け、付属の取付ねじ（2本・外側）で固定します。このときはワッシャーを使用しません。**

2



ダクト接続と断熱処理をします。

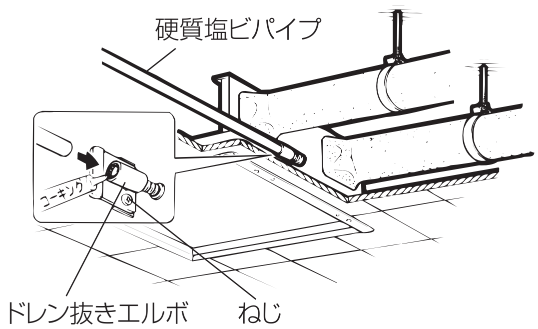
- 風漏れのないよう市販のアルミテープ等でテーピングしてください。
- ダクトは断熱処理をしてください。
- ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊してください。

メモ

- 天井裏が250mm以下のときはダクト配管を固定せず、ダクト接続口を差し込んでからダクト配管を固定すると施工が容易にできます。

ドレン配管

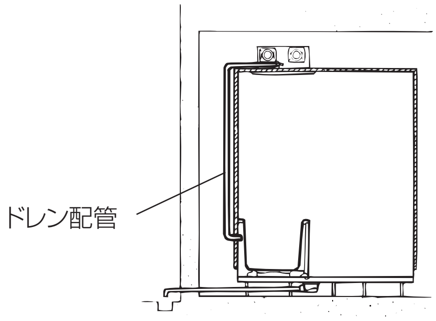
1



硬質塩ビパイプ（呼び径13用）で配管します。

- 硬質塩ビパイプ（呼び径13用）の先端に塩ビ用接着剤を塗布し、ドレン抜きエルボに接続し、確実に固定してください。
- ドレン水を流れやすくするために硬質塩ビパイプに1°以上の下りこう配をつけてください。
- ねじ（2本）をはずし、ドレン抜きエルボの向きを180°変えれば反対側からもドレン配管を行うことができます。

2

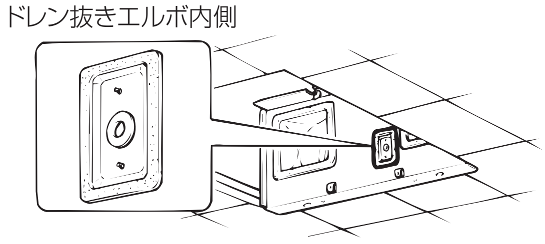


ドレン配管の先端は必ず排水可能なところまで導きドレン処理を確実に行ってください。

お願い

- ドレン配管は確実に固定してください。
- ドレン配管から水漏れがないように処理を行ってください。
- パイプの途中に、水の溜まるようなへこみを作らないでください。

3

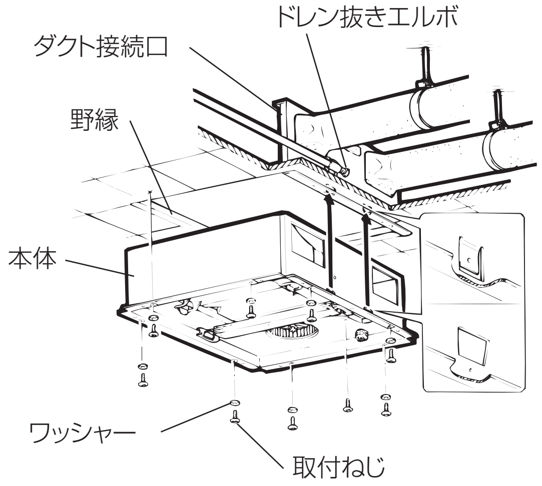


ドレン排水がスムーズに流れるか確認します。

- ドレン抜きエルボの内側の穴より水を流して配管内にゴミ・切り粉などがないか確認します。

本体の据付け

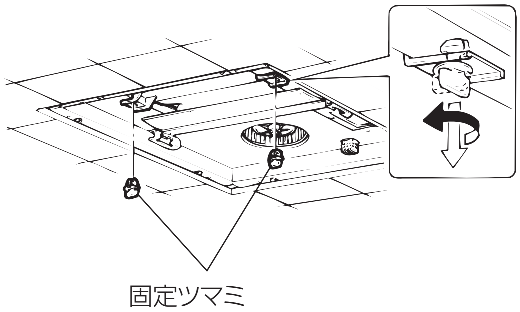
1



本体を据付けます。

1. 本体を野縁にそって差し込み、本体の穴とダクト接続口の下側のツメおよび、上側のツメがはまり込むように本体を据付けます。
2. 付属の取付ねじ（8本）とワッシャー（8個）で本体を確実に固定します。

2



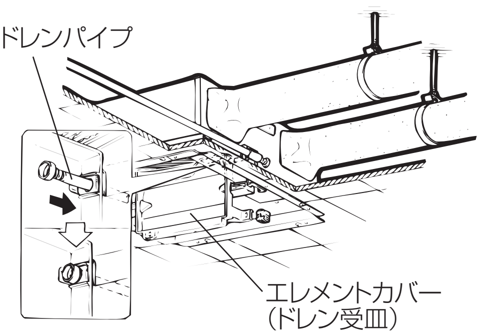
エレメントカバーを開けます。

1. エレメントカバーに固定してある付属のドレンパイプをはずします。
2. 固定ツマミ（2個）を回してエレメントカバーを開けます。

- エレメントカバーはドレン受皿になっています。

据付方法 つづき

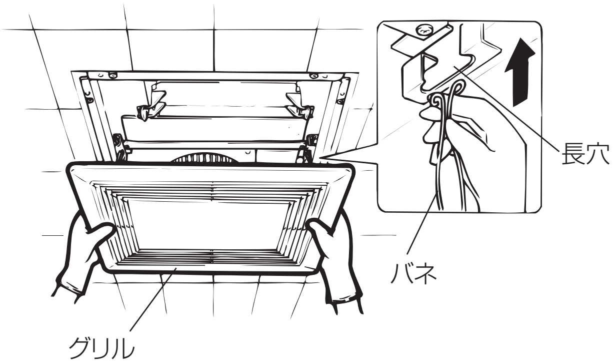
3



ドレンパイプを取付けます。

1. **ドレンパイプをドレン排出口に差し込みエレメントカバーのへこみ部分に納めます。**
2. **ドレンパイプが抜けないことを確認します。**
   - これでドレン受皿からドレン抜きエルボにドレン水が流れます。
3. **元通りエレメントカバーを閉じ、固定ツマミをはめ込み固定します。**

グリルの取付け



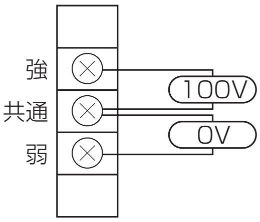
グリルには2つのバネが付いていますので両手でバネをつかみ本体内部の長穴に差し込み、手を放し軽くグリルを押して取付けます。

試運転

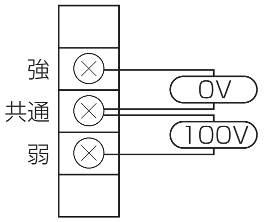
据付けが終わりましたら、次の確認を行ってください。

1. **結線は正しいですか？**
   電気工事の「誤結線防止リード線色確認表」に記入されたリード線の色を確認してください。
2. **コントロールスイッチを操作し正常な運転ができますか？**
   電源スイッチの「入」・「切」、風量切換スイッチで「強」・「弱」の切り換えを確認してください。
   - **正常な運転ができない場合は本体端子台で右図のように電圧がかかっているか確認してください。**
     テスター等でチェックしてください。

「強」の場合



「弱」の場合



3. **振動・異常音はありませんか？**
   本体の固定、グリルの取付けを確認してください。点検・処置をしても変わらない場合は、販売店に点検・修理をご依頼ください。

お客様への説明

- **分電盤のブレーカーとコントロールスイッチの位置をお客様へ説明してください。**
- **この「据付説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客様へお渡しください。**
- **お客様が不在の場合は、発注者（オーナーなど）または、管理者へ説明してください。**

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、
再生紙を使用
しています。